



発行元：神門通りおもてなし協同組合 事務局：〒699-0711 島根県出雲市大社町杵築南1344(出雲商工会内) TEL0853-31-9660/FAX0853-31-9961 発行責任者：田邊達也

神門通りおもてなし協同組合 平成30年度通常総会開催

理事長のあいさつ
田邊達也

5月15日大島屋旅館に於いて、神門通りおもてなし協同組合の第6期平成30年度通常総会を開催させていただきました。当日は、ご多忙の中多くの来賓にもご臨席いただき、予定しておりました議案は全て承認されました。誠にありがとうございました。

また、この総会において任期満了による新役員の選任も行われました。その際、私が、僭越ながら新たに2年の理事長の役割をお受けさせていただくこととなりました。どうぞよろしくお願いたします。

さて、当組合も出雲大社本遷座祭の翌年に発足以来、早6期目を迎える事となりましたが、今もお出雲大社のお陰をもちまして、年間600万人の来訪者を数えておりますが、年々減少の傾向は否めません。そこで、当組合としても着実に自力を付け、真の門前町としての役目を果たさなければなりません。

そのために、私は先ず、情報共有化を進めて参りたいと思っております。わずか5年で56事業所からなる当組合は、歴史の浅さから組織としての効果を発揮している状況とは言い難いものがあります。

それは、一つには個店同士の

コミュニケーション不足が原因であり、その対策としての情報の共有化と協働の徹底が不可欠と考えております。

その方法として、このような新聞の発行、HPをはじめSNSの積極的な導入、あるいは、回覧板制度の充実、そして各個店の従業員の出会いの場である、新年会・納涼会・ボウリング大会など企画して参ります。

そして、何よりも各個店の努力が一番ですが、忘れてはいけないうのは、全国からのお客様は、その個店を目的に来るのではないことを自覚しなければなりません。出雲大社があり、神門通りという門前町があるから乗り越えていただくと考えますと、各個店が今何をすべきかがお解りいただけるものと思います。さあ、みんなで日本一の「おもてなし」の神門通りをつくりましょう。



おもてなし 研修会

本年度第1回目
5月30日(水)開催

出雲観光大使である和田節子さん(出雲大社観光ガイドの会会員)を講師に迎え、勢溜りから出雲大社に向かって和田さんの説明を受けながら参拝の基礎知識、観光客に説明できる知識を教えてくださいました。

私も観光客をおもてなしする立場にとって、この日身につけた知識は観光客の満足度向上のためには極めて必要なことです。今回は13名の組合の皆様にご参加いただきましたが、次回の研修会にはもっと多くの組合員の皆様にもご参加いただきたいと思います。



講師をしていただきました和田さん
本当にありがとうございました!



第25回

えびす・だいこく 100キロマラソン

島根半島を東から西へと走る「えびす・だいこく100キロマラソン」が5月27日(日)、美保神社と出雲大社を結ぶコースで好天のもと開催され、1689人の参加者が力走を繰り広げました。

ゴール地点である出雲大社神門通りの交通広場では、ゴールしたランナーの「皆様におもてなしとして当組合よりぜんざいの振る舞いがありました。当日気温も30度近く、その中を100キロ激走してきたランナーにはぜんざいの糖分が胃にも心にしみたことでしょう!



ランナーの皆様、そして組合の青年部、役員の皆様お疲れ様でした!



おもてなし心得

- ① 火の用心の徹底
- ② 店舗前の駐停車に十分注意
- ③ 交通広場への従業員の駐車利用厳禁
- ④ 祝日は「日の丸」掲揚励行



理事:環境整備委員長
土江光二
(有)土江重機
出雲かみしお



理事:広報渉外委員長
石橋弘規
(同)ICスタイル
ご縁スタイル



理事:販売促進委員長
平野顕久
(有)ひらの屋



副理事長
兵庫宏信
みちくさ



副理事長
多々納光教
大社門前いづも屋



理事長
田邊達也
日本ぜんざい学会
壱号店



顧問
金山治正
おくに茶屋



監事
和田信三
和田珍味



監事
中尾久士
山陰合同銀行大社支店



理事:青年部部长
須谷慎介
すたに旅館



理事:総務委員長
三木康夫
(株)ご縁横丁



理事:教育研修委員長
多久和利紀
(株)一畑百貨店

平成30年度・平成31年度
神門通りおもてなし協同組合

役員紹介